

# やすらぎ加賀通信

第101号 2015/2/2

大寒を過ぎ、春思わせる陽気を感じる日があります。冬の気候も落ち着き始めましたでしょうか。北陸新幹線の話で盛り上がっていますが、南紀白浜の双子パンダ誕生のような活性化の起爆になるようなものが能登にはないでしょうか？

昨年、竹の浦館で東農大名誉教授小泉武夫先生の「発酵食品魔法の力」の講演会を聴きました。素材を生かし、時間をかけ、酵母を利用すると奥行きがあり、独特の個性を持った健康食品が出来上がる。しかも美味しく高い栄養効果がある。いい話でした。手間をおしんではいけませんね。先人の知恵を生かした生活を心がけたい。

## 土田先生（心理カウンセラー）の相談予定日

2月20日（金）、27日（金）

3月 6日（金）

時間：9:30～11:30

場所：やすらぎ加賀教室

※相談ご希望の方は予約をお願いします。



	来室相談	訪問相談	電話相談	合計	通室生徒
12月	13	5	8	26	2
1月	13	7	20	37	2

※土田先生による学校訪問相談は市内2高校計4回実施、本年度は終了しました。

## 第4回 事例検討会から 1月19日（月）15:00～ 加賀市民会館 参加17名

今回は学校、市こども課等に加え児童相談所の参加も頂き、事例について多角的で深い話し合いになりました。

事例は中学生Aさん。小学校で学校行事をめぐり保護者と行き違いが生じ、それがきっかけで不登校がはじまった。中学校に進学してから1学期は保健室等登校していたが、2学期から不登校になった。ひきこもりも懸念される。遠因には両親の養育上の課題もある。学校は関わってきたが本人に会えない。

話し合いでは講師の原田克巳先生も参加され、

- ・ 母親の支援がまず大切であること。母が発散できる機会が必要である。
- ・ A君が学校で自己表現できる場所、居場所があったらいい。
- ・ 気持ちのつながりが出来る先生を増やす。登校の際はまず気軽な声かけに努めること。
- ・ 反抗期を迎えるAに対しては母の対応次第で変わる可能性がある。
- ・ 担任が登校刺激をしても良い。市の支援センターを紹介してみるのも良い。

等のヒントや支援の方向性を与えられました。

事例提供者からも「いろんな意見を頂き有意義だった。」「多くの方が一緒に考えてもらえてありがたかった。反抗期の対応についてあらためて勉強になった。」等謝意がありました。

最後に今年度1年間の事例検討会運営について、副室長よりお礼が述べられました。

PCAGIP法による検討は今回で5回目だが、効率的で意見が深まる利点がある。

# 1月の活動

## 加賀メンタルフレン

4年生2人、3年生1人、2年生1人がそれぞれ中学校・のぞみ  
 ・ やすかがで生徒の話し相手やストレス解消に頑張ってくれてお  
 ります。やすかがのAさんは、通室生と将棋や公園散歩、時には  
 トランプで手品を見せてもらったりと活躍しています。

若い世代に圧倒的な支持のあるソーシャルゲームは何故かしていま  
 せんよ。??????



## 竹の浦館 お出かけ教室（生キャラメ

材料



調合



加熱



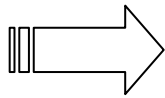
冷却成形



カット



最後に包装



トローリとろける生キャラメルを小雪舞う竹の浦館で作ってみました。美味しくできました。

60個以上出来たのでメンタルフレンドやお友達にあげました。

## 教室の様子

お正月はどうでしたか。通室生の家庭でのおせち料理やお雑煮の話を聞きながら新しい年を迎えました。お年玉の話題もちろ。我が家では高校生は3000円でしたが、良く我慢してくれました。ハイ。ちょっと新しく購入したマンガでリラックス。



公園を散歩すると冬の花が咲いています。少し色も出始めました。



コゲラもを見つけました。何羽もいましたよ！

新しく仲間入りしたデンドロです。晴れた日には白山を見に公園のわんぱく城に登りますが、桜が待ち遠しくなりますね。